

事業の背景・目的

岡山県南部と広島県福山市に生息する国内希少野生動植物種スイゲンゼニタナゴの分布状況は、正確な情報が得られていないのが現状である。令和3年度は、スイゲンゼニタナゴの最新の分布状況を把握するとともに、本種に悪影響を与えると考えられる外来種を捕獲・駆除することを目的として事業を実施した。

事業の内容

外来種の駆除

岡山県南部および広島県福山市において、スイゲンゼニタナゴに悪影響を与えると考えられる外来種を捕獲・駆除した。



スイゲンゼニタナゴの分布状況の把握

スイゲンゼニタナゴの最新の分布状況について把握するため、採水と環境DNA分析を行った。



得られた成果

- スイゲンゼニタナゴに悪影響を与える可能性のある外来魚およびアメリカザリガニについて、事業全体を通じて、計931個体の駆除を行った。それにより、外来種が種間競争や捕食などを通じてスイゲンゼニタナゴに与える影響を緩和できたと考えられた。
- スイゲンゼニタナゴの生息分布を非常に高い精度で推定できる環境DNA分析手法（令和2年度の事業で開発）を用いて、本種の最新の分布状況に関する情報を得た。